

令和6年3月25日（月）

基幹相談支援センター 活動報告

【研修・学習会報告】

9月22日（金） 15:00～17:00 参加者33名

知能検査・発達検査の見方と支援への活かし方：児童発達支援センターアシタエールに勤務されている臨床発達心理士の先生にご協力頂き、相談業務の中で最も頻繁に目にする検査について、初歩的な理解のための学習会。相談支援事業所だけではなく、市内児童発達支援事業所、放課後等デイサービスにも声をかけ実施しました。「得意を見つける検査」という先生の言葉が、参加者の心に残ったようです。

11月10日（金） 15:00～17:00 参加者13名

障がい者虐待防止についての研修：福祉工房楓、にいざ生活支援センターの相談支援専門員による研修。さまざまなサービスの現場に関わる相談員が、まずは「あれ？」を感じるスキルを持つこと、ささいなやりとりの中でも常にアンテナを張り業務に携わることを目的としました。具体的な事例を数例提示してグループ討議を行った中では、確信がなく通報をためらっていた相談員も多いことがわかりました。通報・相談の方法や、通報＝虐待認定ではないことを知り、通報・相談しやすい環境作りにつながりました。

11月16日（木） 9:20～17:00 参加者9名

相談支援専門員基礎研修：令和5年度に相談支援従事者初任者研修を受講した新人相談員のための研修。自立支援協議会会長、障がい者福祉課、市内の経験年数の長い相談支援専門員の協力を得ました。面接技法の講義では具体的な技術のみならず、相談員として利用者と関わる姿勢や相談員自身の世界観の持ち方、広げていく方法を学びました。計画相談の流れ、福祉サービスの種類の講義で実務に関する知識を得た後に、現役相談員が実際に作成した計画書を用いて、アセスメントからサービス実行に至るまでの過程を説明しました。研修最後には経験年数の長い相談員を囲み、気軽に質問や意見を交わす場を設けました。相談員の話を経率的に聞く姿や、初任者研修からの再会を喜ぶ参加者の笑顔が印象的でした。

12月1日（金） 9:50～11:50 参加者31名

意思決定支援研修：社会保険労務士の先生をお招きし、全ての福祉サービス従事者が迷い悩み立ち止まる大きなテーマに向き合う研修。相談支援専門員だけではなく、市内通所事業所等にも声をかけ実施しました。意思決定を支援する、という意味を正しく理解し支援力の向上を目的としました。意志を表明することが困難な場合だけではなく、当事者ご自身が意志を持つことからの支援だということは大きな学びとなりました。

1月12日（金） 15:00～17:00 参加者20名

保健所・保健師の役割と仕事：朝霞保健所の保健師さんをお招きし、意外と知らない保健所の中身と、精神保健における相談員との関わりについての研修。保健所の役割をよく理解することで連携を深め、より充実した支援体制の構築を目的としました。「まずはご相談ください」とのお言葉を頂き、保健所への相談のハードルを下げられたことで相談支援専門員の相談先が一つ増えました。

【その他】

- ・相談支援従事者初任者研修への協力
- ・「地元で暮らそう」を支えるチーム新座の活動
- ・各部会（地域移行・定着支援部会、地域生活支援部会、子ども部会）の運営、又は参加、協力
- ・高齢者相談センター、児童発達支援センターとの連携
- ・民生委員との連携（5月定例会へ出席）
- ・基幹調整会議（月1回） ・虐待コア会議（不定期）
- ・教育、保健、医療、福祉関係機関との連絡会、研修会等への出席
- ・ピアカウンセリングセミナー/強度行動障がいの子を持つ親のピアカウンセリング

【成果と課題、来年度に向けて】

基幹相談支援センターとして今年度は、人権や尊厳という福祉の入口でもあり出口でもある終わりのないテーマと、さまざまな角度から向き合いました。常に向き合うことを忘れずに業務を行う、という地域の基盤作りを進めてきた1年でした。連携の一步として、研修には地域で活躍されている方々に講師を依頼し、お互いの役割を知りより近くに感じることができるよう努めました。具体的な技術や知識ではない部分もあり、伝える困難さを感じながらの研修だったことは否めませんが、今後も継続し、変わらないテーマとして掲げていきます。

昨年度に引き続き実施された相談支援従事者初任者研修では、12名の受講者が資格を取得し、うち数名がすでに業務に従事しております。相談支援専門員不足はまだまだ継続中の課題であり、来年度も引き続き開催の予定です。

また地域生活支援拠点、地域移行、強度行動障がい、医療的ケア児、高次脳機能障がい等、学び取り組むべきことは果てしなくありますが、来年度は相談支援部会との連携をより密に、基幹相談支援センターも相談支援部会の運営に加わり、共に成長していきたいと思っています。